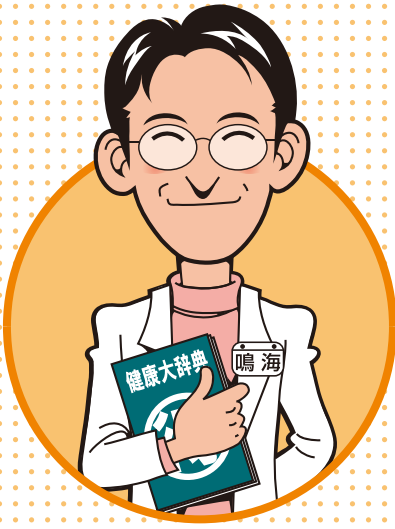


# 健幸タイム



## 神様が好きな人間の行いその1

### 風水の基本は「ガイオウ」

ある宮司さんから、「こんなお話を聞いたことがあります。」

「上棟式などを執り行った際、「氣持ちのよい風」がピューッと通り過ぎていく」という現象が時々あります。これは、神様の存在が「風」という自然現象を通してあらわれた、と解釈しています。」

「こんなふうに「なにかの行い」に対して、周りの環境が答えてくれる」という考え方を「ガイオウ＝外応」といいます。」

「風が吹く」「鳥が鳴く」「木々のさざめき」といった「なんとなく氣持ちがいいなあ」と思える現象は、自然界(神様)からのやさしくて温かいメッセージなんですね。

数千年もの歴史を持つ「風水」の基本も、「氣持ちいいなあ」と感じる環境が「運氣」を高めてくれるという考え方。人間のからだでもそうですが、「氣持ちがいいなあ」の基本は「氣(エネルギー)が常に流れている状態」つまり、「氣が滞っていない状態」です。

だから、「氣持ちがいいなあ」と思えるように周りを調えることで、私たちは、いつも心地よい「外応」の中に身を置くことができる、とも言えるわけです。

例えば、家の中で「風」の通り道といえば「玄関」と「窓」。「水」の通り道といえば「台所」や「トイレ」「お風呂」「洗面台」。とりあえずはこの

「風」と「水」の通り道をきれいにしてみる。すると、「あれ?…我が家って、こんなに氣持ちよかったっけ?」と、思わず嬉しくなってしまうほど、心地よい「外応」に満たされた「癒しの空間」になります。

すると、当然「このころとからだも健幸」になって、運氣の流れもよくなること間違いなし。自然界の中では、本来ずっと流れ続けている「風と水」を、自分の身の周りでも調えることで運が開ける。だから「風水」と呼ばれてきたのかもしれないですね。

### そわかの法則

宇宙の法則などを研究していた小林正観さんによると、「神様が好きな人間の行い」というのがあって、そのベスト3が「掃除・笑い・感謝」なのだそう。これを、それぞれの頭文字から「そ・わ・かの法則」として紹介していました。

前述の「風と水の通り道をきれいにすること」「掃除」は「神様の好きな行い」でもあったんですね。

ホテル業界などでよく言われる、「一流のスポーツ選手の泊まった部屋はキレイなことや、世界の富豪に共通しているのが「トイレの蓋を閉めていること」「靴を揃えていること」だったりするのも、掃除のたいせつさに通じているように思います。

掃除が行き届いている場所は「氣の流れ」がとてもよくて、そこにいるだけで、氣持ちが良くなるし、人間のからだも「氣の流れ」が良いと、いつも健幸でいられます。

心身のエネルギーバランスを調える「ヒーリング」も、「氣の流れ」を良くすることが基本。そう考えると、いつも身のまわりをきれいにしている人は、常に自分をヒーリングできているのかもしれない。

外応(ガイオウ)、風水、そわかの法則。

すべてに通じる「掃除」は、最強の「開運の秘訣」「健幸の秘訣」でもあるようですよ。



#### 鳴海周平プロフィール



1971年北海道生まれ。心身の波動を高める製品の開発・普及をおこなう(株)エヌ・ピュア代表。健幸エッセイスト、ヒーラーとしても、ラジオ番組や講演、ブログ、著作などを通じて「このころとからだの健幸情報」を発信している。著書に「医者いらずになる 1分間健康法」「死ぬまでボケない! 1分間「脳活」法」(共に帯津良一氏との共著)「小食・不食・快食」の時代へ」(はせくらみゆき氏との共著)「超快眠! CDブック」(大橋智夫氏・山梨浩利氏との共著)(すべてワニ・プラス刊)などがある。

参考  
「そわか」の法則(サンマーク出版)小林正観 著  
アメブロ 鳴海周平の「このころとからだの健幸タイム」

アメーバブログ

<https://ameblo.jp/npure/>

エヌ・ピュア公式サイト

<https://npure.co.jp>